



ななかまど

江別市立江別第一小学校
学校だより
令和2年12月23日発行
第10号

夢をいだき 未来をひらく 江別第一小の子ども

○思いやりをもち 助け合う子(情) ○すすんで学び よく考える子(知)
○ねばり強く やりぬく子(意) ○心もからだも たくましい子(体)
発行責任者 校長 佐藤 直己

URL <http://www.ebetsu-city.ed.jp/daiiti-s/>

子は親の鏡

校長 佐藤 直己

全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、ここ江別市においてもクラスターが発生するなど警戒すべき状況となりました。そのようなこともあり、子どもたちが楽しみにしていた学芸発表会も、前半の1・2・6年生となかま学級の発表は保護者の皆様にも参観いただけましたが、後半の3・4・5年生は残念ながら無観客での演奏となりました。それでも子どもたちは、これまでの練習の成果を存分に発揮し、最高の発表をしてくれました。子どもたちの頑張りには頭の下がる思いです。



今年は新型コロナウイルスを意識し、制限がある中での生活となりました。その分、家族と共に過ごす時間も増えた方も多いのではないのでしょうか。私も多分に漏れず、出かけることもできずに家庭で過ごす時間が増えました。家族と一緒に過ごしていると楽しい時間も多くありますが、時には小言を言いたくなる時もあります。そのような時、どのような対応をとるかで相手の気持ちや行動も変わってきます。特に、感受性の強い子どもならなおのことです。保護者の皆さんも、子どもがそばにいてくれる喜びと同時に、子育ての難しさを感じながら過ごされた1年だったのではないのでしょうか。かくいう私も、教育者でありながら、子育ての難しさを痛感している毎日です。そんな私が自分自身を振り返るときに読ませてもらっている詩を掲載させていただきました。日々子育てに奮闘されている保護者の皆様の参考になればと思います。



本日をもって今年の授業も終了し、明日から22日間の冬休みに入ります。予想だにできなかったコロナ禍での生活となり、保護者の皆様も不安が多かったことと思います。そのような中でもこの一年、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染の一刻も早い終息を心より願うとともに、皆様が希望に満ちた新年を迎えられますことを心よりお祈りいたします。

『子は親の鏡』

ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげつけられた家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言われて育つと、
子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にする人、引っ込みじんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは
「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持ってしまう
広い心で接すれば、子どもの心はならなる
誉めてあげれば、子どもは、明るい子になる
愛してあげれば、子どもは、人を愛するようになる
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つけてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合おうと教えれば、子どもは、思いやりを学べる
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のあふれる子になる
やわらかく、思いやりをもち育つと、子どもは、やわらかく育つ
守ってあげれば、子どもは、強くなる
和気あいあいとした家庭で育つと、
子どもは、この世の中は公正だと信じるようになる

全学年の発表が終了しました！

11月には、1・2・6年となかま学級が学芸発表会を行いました。12月1日、4日に、3・4・5年生の発表を行いました。北海道で新型コロナウイルスの感染が拡大したため、3・4・5年の発表には、保護者の参観をご遠慮いただきました。大変、申し訳なく思っております。

子ども達の発表は、これまでの練習の成果を十分に発揮した、素晴らしいものでした。3・4・5年生の保護者の皆様には、直接観て頂くことができませんでしたので、学校で撮影した映像をDVDにしてお渡しし、観て頂きました。

今年の学芸発表会テーマ「心ひとつに 仲間と最高の ハーモニーを響かせよう」でした。学年ごとの開催となりましたが、全校児童が思いを一つにして、素晴らしいハーモニーを響かせてくれました。児童公開日も設定できませんでしたので、全ての学年の映像を、お昼の放送の時に流して、全校児童で見ました。自分達の発表も見ることができて良かったのではないのでしょうか。



学級委員会主催「じゃんけん大会」

12月18日（金）に、児童会の学級委員会が主催し、「じゃんけん大会」を行いました。

今年度は、なかなか児童会活動を行うことができない状況ですが、今回は、テレビ放送を通じて、全校で行いました。学級委員が、放送室から生放送で掛け声をかけ、教室の子ども達が勝った人数を競うものでした。短い時間でしたが、とても楽しそうにじゃんけんをしていました。テレビ放送を通じた活動に、すっかり慣れてきました。



給食をじっくりと、味わって

例年の学校生活では、給食時間と言えば、みんな楽しく、わいわいと、おいしく給食を食べていました。今年は、新しい生活様式にのっとなって、配膳の時にはマスクをつけて、食べる時にはマスクを外して、おしゃべりをしないで食べることをしています。給食時間に各学年を回ってみると、スプーンがお皿にあたる音が聞こえてきます。食器の音ってこんなに聞こえてくるものなんだと感じるほどです。おしゃべりをしないで食べるという指導をしっかり守り、感染防止に努めている児童の姿勢が大変素晴らしいと感じました。これまでだと、おしゃべりの音にかき消されていたのだと思います。



租税教室～6年生～

12月18日（水）に6年生を対象とした租税教室が行われました。税金がどんなことに使われているのか、税金がないとどうなるのかなど、アニメのDVDをみて、子ども達は、実感していました。

アニメのお話では、火事があった時に消防士の方々が消火作業を行い、逃げ遅れた人を助けてくれました。しかし、税金のない世界では、消火活動にお金を払わなければやってもらえません。警察の仕事や公園の整備、道路の整備も税金がないとしてもらえないので、道路を通る時には通行料を払わなければならない場面も出てきました。お話を聞いて、税金の大切さを感じていました。

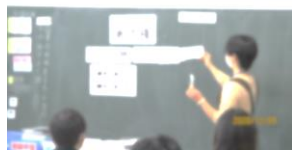
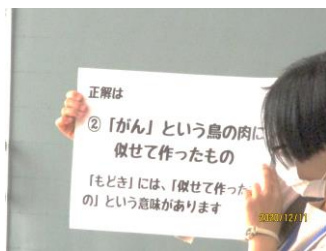
最後には、1億円の札束のレプリカを見せてもらいました。アタッシュケースにびっしりと入った1億円を初めてみた児童も多いのではないのでしょうか。この租税教室から、お金の大切さを感じてもらえたと思います。



読書好きの子どもたちに

今月は読書指導強化月間として、江別市情報図書館の司書の方にご来校いただき、ブックトークを開催しました。学年に応じて、読み聞かせをしてくれたり、著作権について説明してくれたり、子ども達が本に親しみをもてるように様々な内容でお話をしてくれました。5年生には、著作権の大切さを教えてくれました。6年生には、食べ物に関連した本を紹介してくれ、「がんもどきの名前の意味は何?」「岡山県の豪華なちらし寿司が作られたきっかけは?」などのクイズも出してくれました。

日常的にも、週3回、朝の時間に「朝読書」を行っています。熱心に本を読む姿が見られますので、冬休みにも本を読む機会を作り、感動する心や豊かな感性を育てていきたいものです。



豊かな教育活動を支えるために

今年度も、株式会社スコレー（日本マクドナルドのフランチャイジー）様より、豊かな教育活動に役立てるようにと、市内各校に10,000円の寄贈がありました。子どもたちのための本を購入する予定です。この場をお借りしてお礼申し上げます。なお、スコレー様からは、毎年新1年生に防犯ブザーも寄贈いただいています。合わせてご紹介いたします。



ご協力をお願いします

児童の下校時間帯に、学校前のT字路交差点の中で、停車し、お子さんの下校を待っている車があります。道路交通法で交差点から5m以内は駐停車禁止です。

交差点内や横断歩道近くでは、停車してお子さんを待つことのないようにお願いします。

保護者アンケートへのご協力のお礼

～感謝いっぱい～

12月に行いました保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。

保護者アンケートにはこの一年間のお子さんの学校生活を振り返り、お気づきになったことや疑問点等、率直な意見をご記入いただきました。特に、今年度は、新型コロナウイルスの感染症対策についても、項目に入れさせていただきました。概ね良い評価をいただきました、記述の中でも、「制限が多い中、工夫して行事を実施してくださり、ありがとうございます。」ということも書いていただきました。また、担任含め職員全体への励ましや激励の声も多数いただきました。このアンケートを、今年度の反省と次年度の学校経営方針の策定の資料として活用させていただきます。結果については、今後の学校だよりの中で、お知らせします。アンケートへのご協力、ありがとうございました。


北海道子ども相談支援センター

ちょっと誰かに相談したいな、そんな時にご活用下さい。

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

 0120-3882-56

(無料、毎日24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談

(10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。

※ センターのWebページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。

URL <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>

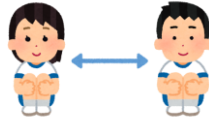
昨日、静岡県の大井川農業協同組合（JA大井川）から頂いた、お茶の詰め合わせを全児童にお渡ししました。お茶文化への再認識と関心を持っていただきたいとの趣旨で、寄贈して頂いたものです。ご家庭で、お茶を飲みながら、のんびりして頂きたいと思います。

地域の皆様へ

ご協力に感謝いたします

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、運動会や学芸会などの行事等に、ご来賓や地域の方々には、来校して頂くことができませんでした。大変残念ではありましたが、地域の方々には、ご理解とご協力をいただきました。大変ありがとうございます。

学校では、下記のような感染防止対策を行いながら、今できる活動を行い、子ども達の成長につなげていくための教育活動を進めています。子ども達は、マスクをすることに慣れ、手洗いや消毒、ソーシャルディスタンスを保つこと等、自ら感染を防ぐ手立てをこの1年で身に付けていると感じます。また、児童、保護者の方の感染防止対策徹底のための取組により、マスクの着用はもちろんのこと、風邪症状がある場合には、無理をせず、学校を休むなどして頂いています。



児童、保護者、地域の皆様のご協力により、これまでのところ、児童の感染者はいません。今後も、子ども達が感染しないように留意しながら、感染拡大防止努めていきます。

【感染拡大防止のために取り組んでいること】

- マスクの着用
- 授業中の換気
- 教室や手すり等の放課後の消毒作業
- 職員によるトイレ清掃作業
- 風邪症状のある家族がいる場合の出席停止措置
- 教室の座席の配慮（間隔を広くとる）他

一日でも早い収束を祈っていますが、長期化することも予想されます。地域の皆様におかれましても、新型コロナウイルス感染症に感染しないことを祈念します。今後も、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。



保護者・地域の皆様へ

緊急の連絡について

12月26日から1月6日まで、学校閉庁日のため、学校には職員がいません。緊急の連絡がある時には、市役所を通じて、教育委員会へ連絡をお願いします。緊急を要しないものについては、1月7日以降の平日に、学校へ連絡してください。



日	曜	行事内容
1	金	元日 学校閉庁日
2	土	学校閉庁日
3	日	学校閉庁日
4	月	学校閉庁日
5	火	学校閉庁日
6	水	学校閉庁日
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	
13	水	チャレンジテスト配信日
14	木	職員会議 転入受付（14時）
15	金	全校4時間授業 図書館閉館～22日 T街頭指導①
16	土	
17	日	
18	月	児童委員会⑤ T街頭指導② 冬休み図書返却（低学年・なかま） SS1週間
19	火	冬休み図書返却（中学年）
20	水	冬休み図書返却（高学年）
21	木	スキー学習6年
22	金	コミュニティ・スクール運営委員会③
23	土	
24	日	資源回収日
25	月	火曜日課 図書室開館 図書サポ⑤ スキー学習4年
26	火	月曜日課 児童委員会⑥
27	水	職員会議 諸費納入日（6年卒業アルバム代）
28	木	食育1年 読みサポ⑥ PTA役員会
29	金	スキー学習5年
30	土	
31	日	

土曜開放(1月)

1月に学校開放はありません。

心の相談室(1月)

15日/19日/22日
26日/29日